

[illegible]

おにケル

2023.12.7 [BARAKI]

おにケルについて考えよう! FLOOR 3-1

(今日は生蛋習かんタ)

ランチコンサトが
できる場所は
どこかな?

反響の
あるスペース

集客なくても
はじめの方を
楽しめる

1フロビー

きたしんホール

子ども連れ
9:00過ぎから
多い

サポート
できればいいな

つくる人
と楽しむ人
支える人

情報発信
サブスター
と共働き
押す〜

音響が
聴こえくろは
いいな...

おせち
今日の
晩ごはんは
今日で3食
いっしょに
食べる

FM
おにケル
相性がいい

子どもの
ラジオ

お月見
音はなし

えほん
読みかけ

おはなのほて
ハーブ

あけぼの
ナイトコンサート

Night ツア

大人の
おはなのいえ

大した仕事
ない
ジョジョ

企画する人だけでなく支える人も必要との声も。



1階のエントランス空間では展示を実施。パネル利用や吊り下げ等の多様な展示方法を見学。

ファシリテーター：中脇氏(大阪芸術大学 芸術学部 准教授)、グラフィックレコーダー：吉田氏、10名の参加者とともに、大阪府高石市の文化複合施設「アプラたかいし」を運営する西山氏(高石都市開発(株)代表取締役)による事例紹介から学びを得て、おにクルをどう使っていくと良いのか、おにクル以外にも文化芸術を広めていくためにはどうすれば良いか意見交換した。



Q1. 実施していることの評価をどうしているか(利益以外の部分も含めて)。

A1. 指標は、特に作っていない。施設に在中で、市民から声を聞く。そこで評価を感じている。

Q2. 無料の場所と有料の場所、どちらで実施するのが良いか。

A2. 講座の先生がやりやすい場所を選べばいい。

【感想】

- 茨木市内でも彩都等、地域によって「おにクル」への関心に差がある。子育て終わった層やシニアは、おにクルは関係ないと思っている人も多い。
- 文化活動している人たちにとっては、「おにクル」でなくても活動できる。ただ、いろんな人と出会えそうとか、そういったイメージがおにクルにはある。
- おにクルでイベントをやっていた時に、自習していた学生も面白そう参加したいと声かけてくれた。つなげる、つながることができる場所がおにクルだ。
- 「おにクル」でやる意義は、普段関わらない人や、文化に関心のない人と出会う、その人たちにとってのスキが見つかる場所かもしれない。「おにクルで縁をつくる」。
- おにクルを起点にして、そこから文化が広がるのが理想だ。出会いのプラットフォームになると良い。いろんな団体がいるので、いろんな刺激を受けられる。
- 居住地以外の地域のコミセンには、行きにくい。まずは「おにクル」に情報コーナーを設けて、発信から取り組んではどうか。
- おにクルならではの動きとして、市民活動している人たちも文化活動に巻き込んでいくべきだ。

「アプラたかいし」は平成15年に誕生し、20年が経過している。現在は1階・2階に商業施設、3階に文化施設(大ホール・小ホール・ギャラリー等)と子育て支援施設、4階に図書館と会議室があり、高石都市開発が一体的に管理運営している。

- 人口5万人のまちで1日5,000人を集客する施設とするため、市民が講師の「まち講座」の開催、図書館の本を商業施設に配架、使われていなかった3階空間を子育て支援施設に変更するなどの取り組みを実施。
- 市民の声をよく聞き、「〇〇したいなあ」という声を聞いてすぐにアクション出来るように動いている。
- まちの賑わいのためには文化芸術の力が必要であるとの考えから、「新しい“スキ”を見つけてもらう」ことをコンセプトに、複合施設のごちゃ混ぜをうまく利用している。